

# 06

World Design House

## Early American Style



### 喧噪を離れ、趣味を満喫する 2人のためのドリームハウス

TSURUOKA KOMUTEN  
千葉県 N邸

photo Kazunari-HIROI 広井一成  
text Hisao ONOZUKA 小野塚久男

#### Owners Voice

仕事の関係でずっと都市部で暮らしていましたが、夫婦揃って定年が近づいてきた頃から、定年後の暮らしについて考えるようになりました。趣味で続けているゴルフ、テニスを思いきり楽しむには、どうすればいいか。それには郊外の暮らしがいいだろうと、千葉県に土地を購入。平屋建てをイメージしていましたが、つるおか工務店といういろいろ話をした過程で、ロフトにゲストルームという間取りが決まりました。趣味に没頭できる、自慢の我が家です。

#### Facade

赤のラップサイディングと窓の白いケーシングで、明るくポップな印象のN邸の外観。当初は紺に黄色の「スウェーデンの邸宅」もイメージしたが、周囲は緑豊かな環境であり、「このほうが目立つし、帰ってきたときに気分がアがる」という理由から赤に決めたという。



#### Terrace

友人・知人を招くことも多いため、パーティでも使えるオープンテラスは当初から希望していた。はじめはウッドデッキも考えたが、メンテナンスの手間と、つるおか工務店からの助言により、床には使いやすいタイルを敷いた。





### Living Dining

平屋を希望していたNさん夫妻にとって、広さと天井高が十分にあり、リビング、ダイニング、キッチンをつなげる間取りが理想だった。上下の窓からたっぷりの陽射しがあり、1日中明るい空間。外観と違って室内はモノトーンを基調に、小物やグリーンをアクセントに使っている。



### Kitchen

たっぷり収納力があり、幅、奥行きも十分なアイランドを備えるキッチンは、奥様のこだわりが凝縮されたスペース。アイランドの側面、奥の壁のモザイクタイル、そして照明は奥様が自ら用意したものだ。

## 開放感あるLDKを持つ 夫婦の夢を包み込んだ終の棲家

人生100年時代ともいわれる現代。定年後の暮らしをどう充実させるか考えたとき、外せないのが住まいである。横浜の戸建てで暮らしていた数年前、Nさん夫妻は「ずっとここに暮らすのか」と疑問に思った。ゴルフ、テニスを趣味とし、自然を愛する夫妻は、都市での生活を

味気なく、窮屈に感じるようになっていた。「定年後に住む家を建てることを決め、千葉に土地を購入。私たちの理想は、広々とした1つのフロアで生活が完結する平屋でした。リビング、ダイニング、キッチンは遮るものがない動線でつながり、オープンデッキとゴルフ

のちょっとした練習ができる庭のある家です。いくつかハウスメーカーに打診したものの、制約が多くまとまらないところで、出会ったのがつかおか工務店でした。私たちのイメージに近い施工例が豊富だったところが決め手です」外観の赤いラップサイディングが印象的なN

邸は、1階に広々としたLDKがあり、訪ねてくる友人・知人のためのゲストルームがロフトに設けてある。LDKは吹き抜けになり、大きな窓があるため開放感は抜群だ。

外観には目立つ赤を使いながら、室内はモノトーンをベースにシックに、落ち着いた空間

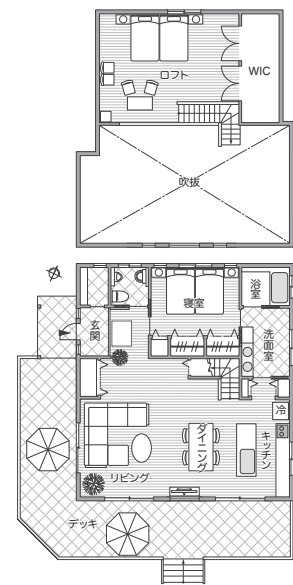
にまとめられている。こうした絶妙なバランスは、カラーコーディネーターの資格を持つ奥様のセンスによるところが大きい。室内の至る所に、奥様お手製のマクラメ編みが飾られている。編み込まれる糸のように、お二人はここで、あたたかいときを過ごされるのだろう。





### Bed Room

バスルームのあるスペースから、直接つながるよう動線を引いた寝室。壁の色は3面とも変え、白い窓にステンドグラスをはめると、カラーコーディネーターの資格を持つ奥様のセンスが光る空間となっている。



### 千葉県 N邸

竣工/2016年  
延床面積/141.8㎡



### Guest Room

当初は1階にと考えていたゲストルームは、つるおか工務店の提案もあってロフト部分に。結果的に、1階がシンプルな構成となり、「大正解だった」とNさん。よく晴れた夜は、天窓から星を眺めることもできるという。



### Entrance

赤い外観の家とは思えないほど、室内はシンプルな配色となっている。このギャップもN邸の魅力。手前にある白い編み物は、奥様が引っ越してから始めたマクラメ編み。室内のいろんところに飾られている



### Rest Room

空間自体はシンプルだが、ボウル付きの家具、照明をポイントに使い、洗練された雰囲気仕立てている。便器は2つ備えられているが、これはご主人の要望から。「2つにしても違和感なくまとまったと思います」。



### Powder Room

ダブルボウル、十分な収納スペースで、使い勝手のいいパウダールーム。モザイクタイルを2種類使うのは奥様の提案で、リゾートホテルのように明るく、ちょっとした遊び心を感じさせる空間になっている。



### ぬくもりあふれる南欧スタイルの家

リゾート感たっぷりの地中海沿岸の南欧建築を忠実に再現した邸宅。青空によく映える暖色系の塗り壁とオレンジ色のスペイン瓦、滑らかな曲線とデザインタイルが調和したぬくもりのある佇まいは、輸入住宅デザインに精通している「つるおか工務店」ならではの。高さのある勾配天井を生かした開放感のある室内も、施主の理想をカタチにした贅沢な空間を実現している。



### 雄大な自然を感じるハワイアンハウス

モスグリーンの屋根とエメラルドグリーンの壁面とのコントラストが絶妙な外観。テラスの床は茶、手すりは白と塗り分けて、ハワイ風の雰囲気演出している。ハワイ好きなオーナー夫妻の好みを反映したもので、現地の家の単純な模倣ではなく、施主の好みやライフスタイルに合わせて一緒に家をつくりあげるのが「つるおか工務店」のスタイル。



### サンルームを中心にぬくもりに包まれる家

エルドラドストーンの外観が重厚感と温かみを感じさせるこの家の中心は、2階のリビングに隣接したイギリス製サンルーム。ゆるやかに傾斜した地形を利用して半地下のビルトインガレージも設けられている。サッシはマーヴィン、EPS工法でサンドイッチパネルと、ハイレベルな住宅性能を実現。家族と愛猫に上質な暮らしをもたらす輸入住宅だ。



### 南欧スタイル輸入住宅の先駆け

1990年代末、まだ輸入住宅といえば北米風が主流だった時代に、オーナーたつての希望で建てた南欧風住宅。テラコッタタイルや屋根瓦などの部材をスペインから直輸入し、太陽に映える漆喰仕上げの白い外壁が印象的だ。竣工から10年後にはリフォームを施し、長く快適に住み継いでいける、スペイン風輸入住宅の模範ともいえる上質な住まいだ。

### Information

## 有限会社つるおか工務店

TEL 0470-68-4848

営業時間/8:00~18:00  
千葉県夷隅郡御宿町久保2039  
施工エリア/千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県(その他の施工エリア応相談)  
保証・メンテナンス/まもりすまい保険・住宅瑕疵担保責任保険加入、10年保証、メンテナンス迅速に対応  
対応価格帯50万円~/坪

カタログ請求は  
P108を  
ご覧ください。